



平成 30 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 東亜建設工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 優樹
(コード番号 1885 東証第一部・札証)
問合せ先 管理本部総務部長 木村 徹也
TEL.03-6757-3800

取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性を高め、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を図ることを目的として、平成29年度の取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法について

取締役7名（内、社外取締役2名）、監査役4名（うち、社外監査役3名）に対して、以下の項目を主な内容とする無記名方式のアンケートを実施し、回答を得ました。この回答結果に基づき、取締役会において議論、意見交換を行い、取締役会における課題の共有、今後の取り組み方などについて確認いたしました。

《 アンケートの主な内容 》

- 取締役会の運営・議題の選定
- 重要な業務執行の決定
- 取締役会を支える体制
- 攻めのガバナンス
- 守りのガバナンス・内部統制整備
- モニタリング機能

2. 分析・評価について

昨年度の分析・評価結果を踏まえて、当社における3つの意思決定（稟議・経営会議・取締役会）の枠組みについて見直しを行い、取締役会に諮る議案の内容・基準の改定を行いました。これにより、取締役会ではこれまで以上に自由闊達で深度ある議論や意見交換が行われ、審議の充実と適切な経営判断に結びついていることを確認いたしました。

一方で、中期経営計画の未達部分の対策やリスクテイクとなる事案について、タイミングを逸することなく、取締役会において迅速かつ建設的な議論を行うべきとの認識を新たにいたしました。

3. 今後の対応について

ガバナンスのさらなる充実を図るため、当社の特性に応じた最も適切な機関設計について検討を重ね、より実効的な取締役会の実現、延いては企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

以 上